

令和2年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①基礎学力の定着、課題発見解決力の育成を目指した教育課程編成及び授業改善に取り組む。 ②学校行事や生徒会活動における生徒の主体的な取組みを推進する。	①生徒の学習習慣を定着させ、基礎学力の向上を図る。 教科会を主体とした組織的な授業改善の充実を図る。 ②体育祭・文化祭・合唱祭及び生徒会活動の更なる活性化を通して主体性や社会性、豊かな人間性の涵養を図る。	①土曜日や長期休業中の講習、キャリアアップ講座等を充実させる。 授業改善に向けた各教科の取組みを学校全体で共有する。 ②緊急事態に対応し、実行委員会を中心に各自が役割を意識して取組むよう指導し、主体的な活動を通してリーダーシップを育み、コミュニケーション能力の向上など人材育成を図る。	①実力アップ講習やキャリアアップ講座の開講講座数や受講生徒数が前年度を上回ることができたか。 ②学校評価アンケートの学校行事・部活動等において「主体的に取り組むことができたか」等の項目において、肯定評価80%以上を達成できたか。					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	①学校行事や部活動の活性化を通し、責任感や連帯感の涵養を図る。 ②生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図り、心身の成長を支援する。	①部活動の活性化を通して主体性、社会性、豊かな人間性の涵養を図る。 ②生徒への支援体制について情報共有を密にし、様々な機関との連携や活用を図るなど、組織的な対応を図る。	①緊急事態に対応しながら部活動指導において、活動目標を明確化し、部員一人ひとりが組織の一員として主体的に責任のある行動をして、目標達成できるように支援をする。 ②ホームページに教育相談に関する相談窓口を周知し、教育相談を気軽に行えるようにする。	①学校評価アンケートの部活動の取組状況や満足度等について肯定評価80%以上を達成できたか。 ②校内における教育相談の実施状況や学校評価アンケートの教育相談等に関する項目について、肯定評価80%以上を達成できたか。					
3	進路指導・支援	高い進路希望実現に向け、生徒がグローバルな視点を持って将来を設計できるよう、自らのキャリア発達を意識できる、3年間を見通した進路指導の充実を図る。	①生徒の高い進路希望の実現を目指すため、進路指導の充実を図る。	①3年間を見通した「進路指導プログラム」に確実に取り組むとともに、本校の教育改革に対応した新たな教育活動全般を見通した「新・進路指導プログラム」を策定する。	①面談(三者、二者)や進路説明会等が有効であったか。センター試験結果、難関大合格状況、現役進学率(国公立30%、早慶上理も含み50%)の達成状況はどうか。「新・進路指導プログラム」は策定できたか。					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<p>①ホームページのコンテンツを充実させ、学校の特色と魅力を積極的に発信する。</p> <p>②保護者や地域、大学等外部機関、行政機関等との協働連携を促進し、本校教育力の向上を図る。</p>	<p>保護者や地域、大学等外部機関、行政機関等との協働連携を促進し、本校教育力の向上を図る。</p>	<p>①本校の教育活動について、保護者、地域など、より広く情報発信に努める。</p> <p>②行政機関、大学研究機関、地域、民間等と連携した教育活動の充実を図る。</p>	<p>①本校の情報発信に対するアンケート結果はどうか。</p> <p>②外部機関や講師の活用状況、保護者・生徒の満足度等の結果はどうか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>①教育環境の変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む雰囲気醸成し、魅力と活気ある学校づくりに取り組む。</p> <p>②各種会議を計画的に実施し、効率的な学校運営に取り組むとともに、緊張感のある防災訓練を継続し、安全安心な教育環境を整備する。</p>	<p>①教育環境の変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む雰囲気醸成し、魅力と活気ある学校づくりに取り組む。</p> <p>②円滑で効率的な学校運営に取り組むとともに、安全安心な教育環境の整備を更に推進する。</p>	<p>①状況に適した会議や校内研修などを、対面・遠隔の両形式より選択し、迅速で確実な実施を行う。</p> <p>②ICTの効果的な活用などにより、より一層の情報の共有化や校務の効率化を図る。事故防止会議の計画的な実施、施設・設備の安全確認、防災対策の充実を図る。</p>	<p>①グループ及び学年の会議について、対面と遠隔の両形式での回数と充実度を測る。</p> <p>②円滑な改善の視点を持って校務の効率化を図れたか。事故防止会議の実施回数等はどうか。防災対策の充実は図れたか。</p>					